

10月の穂田酒おすすり地酒

正雪・純米吟醸 Challenge 1.8ℓ 2,650円(由比町)
 山影純悦杜氏の10年修行をしてきた山崎村氏の作品。呑んで
 いてきれいで、杯のすすり酒だ。辛口で、すいすいいける。車酔いな味わい
 味に雑味がなく、欠点もない。少し感じる苦みが、辛口に感じさせている。
 五百万石米を50%まで磨いて醸造。正雪さんは、純吟は通常HD-1
 酵母で仕込むのだが、山崎村氏はNEW-5号静岡酵母で仕込んだ。
 限定3の本商品のため、品切れご容赦!! ⑩+1(酸)人/alc15-16%

モリノ三ツクス・森本・愛のメモリ晩酌スペシャル
 飲み過ぎ注意! 愛のメモリ機能付き! 1.8ℓ 1,980円(南川市)
 「アベ」三ツクスもいいけど、まだまだ市況は実感ないで、それや
 ちーっと後押しすっか...と、2年ぶりの久々登場の酒。
 「アベ」三ツクスならぬ、メモリ三ツクス...なんちゃって(笑)。

白隠・正宗蔵付酵母分離培養酵母使用純米1.8ℓ 2,415円
 ⑩+10(酸)1.3(酵母)白隠・正宗酵母 YKT-01 麴米: 誉富士(沼津市)
 (掛米) あいちの甲州(精) 65% すべりも良く、やわらかい (精) 60%
 辛口。爽やかさもあり。水の如くすいすいいけるのどごし!!

國香特別純米酒 誉富士 1.8ℓ 2,730円(袋井市)
 すみません。ご迷惑をおかけ致しています。國香さんのお酒は、どれ
 もこれも今年はお荷が遅れてましてすみません。この酒も少しだけ
 送ってきてくれたけど、試飲できるほど本数が来てないため、味が
 全くわかりません。しかし國香なので、まちがいないでしょ。誉富士を代表
 する酒に仕上げたと思われる。

國香純米吟醸 1.8ℓ 3,990円(袋井市) (青森県)
 少しだけ入荷。ひらめか食べたくなるマイルドで、きれいな辛口
 タイプ。1.8ℓ 2,730円

國香純米吟醸 中汲み 1.8ℓ 4,200円(袋井市)
 毎年全国屈指の純米吟醸の酒質に仕上がってくる。

小夜衣・特別純米 誉富士 1.8ℓ 2,500円720ml 130g(青森市)
 料理を邪魔をしないよう、香り穏やか旨味の後、心地よい酸が爽や
 かに広がり、きれいなしかりタイプ ⑩+4(酸)1.4(酵母)協会9号

杉錦・夏の純米吟醸 1.8ℓ 3,360円(藤枝市)
 このお酒は夏向きに、さっぱりとした印象の酒を目指し、速醸
 元酒母で仕込んでいる。穏やかな吟香、やわらかく、マイルドな
 コクがなめらかに、軽やかに、小量や深みもあるのに、さらっとしている。

一年一度入荷の青森の地酒。この酒の味は、
 一年一度入荷の青森の地酒。この酒の味は、
 一年一度入荷の青森の地酒。この酒の味は、

穂田酒 地酒 第百七拾号
 発行所 静岡市清水区入江町3の3
 (有) 穂田酒 3の3
 (TEL) 054-352-5047
 (FAX) 054-352-9970
 配付所
 〇 穂田酒本店 住所電話同上
 〇 穂田酒ドリ-4 プラザ店
 静岡市清水区入江町13の15
 TEL(FAX) 054-353-6171

**2013年7月 穂田酒の
 おすすめ地酒
 風の森・夏の夜空
 純米無濾過生原酒(奈良県)
 500ml 1,260円(御所市)**
 かせのもり。何と美しい名前。
 何とロマンチックな名前。
 その風の森の蔵がある奈良
 県御所市の風の森峠から
 時にめたさろり座がラベルに
 描かれている。名前を聞いて
 いるだけでも涼いぜ。瓶の
 ラベルを見ているだけでも
 涼いぜ。そしてお酒の中身
 を呑んでもらえれば、もっ
 と涼くなる。

何と品の良い香り、穏や
 かにエレガントなフルー
 ツ香。口にふくめば
 プチプチプチ。ミネリ
 ーな旨みコクが広がり
 微炭酸が口の中で
 弾ける。それは冬場
 に蔵の中で槽口から
 新酒が垂れてきたも
 のを、ひしゃくですくって
 飲ませて頂く時のあの
 フレッシュでピリピリッとくるあのインパクトある
 味わいと、とても似ている。微炭酸があど口を
 ちやんとしてくれるので、スカッとする。スカッ

とするので、益が進む。暑い時な
 どは、ついサイダーのようにゴクン
 ゴクンと呑んでしまふ。(ちよと危
 いぐらい旨い!) このお酒は、まさに
 夏のお酒にぴったり。日本酒が
 呑めないという人にも、試し
 にちよと呑んでみてもらいた
 い。お酒の一つだ。
 風の森の山本社長は、以前
 いろいろな酵母で酒造りを
 試してきたのだが、最終的
 に落ち着いた酵母が、協会
 7号酵母。山本社長の語ら
 ば、7号ほど安定した酵母
 は、ないという。風の森の蔵
 や、仕込み水などと、よほど
 相性が良いのだらう。
 〇 無濾過生原酒であ
 るにも関わらず、くどさ
 を感じさせず、素直で
 呑み飽きしない。爽やか
 さばかりが印象に残る。
 このミネリ-な旨みコク
 のある味は、夏の岩ガキと
 合わせてみたい。西作物など
 や、洋食系でもいいけろ。う
 手造り限定酒のため、品
 切れご容赦!!



陸奥八戸・特別純米 赤ラベル 1.8ℓ 2,800円 香り高く、マイルドな

篠田酒店ぐるぐる酒屋紙ぶろぐ
6月1日(土) 久々のしのだ酒会を開く。会場は当店の裏2階。
テーマは「DRCのエシヅ'88を呑むぞー!!」。DRCの'88といえば、ぎりぎりルロウがDRCのオーナーだった時の貴重な一本。そしてそのDRCのエシヅの呑み比べに「ヴァンサンジラルダンのエシヅ2001」を用意した。ヴァンサンジラルダンのエシヅ2001年は、ロマネコンテ社(DRC)

からブドウを買い造った年のワイン。それゆえDRCの味がするという。走馬メアックなワインXニコニに自ら興奮。全てDRC関連のワインの呑み比べ用に揃えた。DRCのエシヅ'88は、25年の歳月を経てしつかり年を取った熟した香り。ヒークは過ぎていくが、品格がある。育ちの良さも感じる。ジラルダンの方は時間と共にグランヴァンらしい。これぞブルゴニユ特級畑といふ貫禄を味わった。味わいの複雑性がもう一押しあれば、文句なし。香りは良かった。漫画「神の雫」のコミック9巻のP84のようにDRCとまちがえるぐらい似てるという事はなかった。DRCのエリート社員だった親父さんがいるDX-ヌグリストフシュヴオの「ヴォーヌロマネ2011」は、まだ若いながらも香りの良さ、味の複雑性、深みのあるコク、余いんなどがあり、最も本日の人気ワインだった。

6月7日(金) ギタリスト 服部二じ氏がMさんと共にご来店。当店で一曲ギター演奏をして下さった。曲は酒屋のIX-ジが云々という思いからサントリーウイスキーの「オールドコマ-シャルソング」のチャチャ、チャチャ、チャチャ、チャチャラー。50代以上ぐらいの方々なら、なじみの曲ではなかろうか。今日のこの演奏は、ユーチューブの動画にアップするという。

「服部二じ」さんで検索してみても下され。その中の「突撃演奏-酒屋編」をクリックすれば、篠田酒店内の先生の今日のライブ演奏が出てくるそうだ。夜は静岡駅前前のグランテールにて「志太平野・美酒物語」の志太平野蔵元は数多くあるが、この志太平野ほど、すごい蔵元が結集している密度の濃いホットなエリアはあるまい。他の誰かどう思っているかは別として、少なくとも篠田はそう思っている。それゆえ、年一度のこの会は、気合が入る。

磯自慢も喜久酔も初鳥もどこのブースも超満員。長い行列で、なかなかお酒を注いで頂ける所まで辿り着けない。そうこうしてうちに松下米は完売。初鳥の滝上も完売。篠田がいちはやくかけた磯自慢のブルーボトルさえもギリギリ最後の一杯だった。何が年々激戦状態になっている。この会の唯一の欠点は忙しいところだ。でもブルーボトルが呑めて幸せ。磯自慢の純吟も少しだけ入れて頂き、テーブル

に戻り料理と共に楽しむ。やさしい口あたりで、人なつこいマイルドで洗練された味わい。あと味がすっきりしていて切れがすばらしい。やはり、すばらしいの一言だ。喜久酔もきれいだ。初鳥はマイルド。志太泉もさすが。杉鐘は山鹿など个性的。若竹もユニーク。ひたすらブースを回リ、酒も呑み続けリ、しのだであった。

6月8日(土) 高橋仁というお方の「運命のバーカウンター」という本には「趣味の時間をもちたいなら、経営者はあきらめろ」と書いてあるようだ。趣味だらけのしのだは、経営者失格かもしれない。本日は土曜日。営業日というのに、大学時代のサークルOB会に出席。山口県の山口駅に向かう。やや後ろめたい。只遊びに行くのももったいない。そこで日本酒専門店として、その名も高き大阪大田町の「山中酒の店」に寄っていく。お酒の温度管理は当店とほとんど変わらない。しかしお酒の整とんがすぐれていて、在庫管理がしやすい。とてもうらやましく思った。しのだもいつの日か、日本酒冷蔵部屋を造り替えてみたい。そんな夢を胸に秘め、OB会に向かった。

6月22日(土) 富士山の世界文化遺産登録が決定された。万歳。しかも清木の三保松原も構成資産入りを果たしての登録だ。すごい。でもこれからが肝心。「三保の松原から眺める富士山がやっぱり最高!」と思えるように環境をより整えていかなきゃなんないんでしよう。「三保の松原からの富士山を眺めながらの静岡地酒は、世界一旨い!!」といわれるように、なんなぎやあ、青森の地酒呑み比べ、長野小布施酒造のブレドの同じ酒で6号、7号、9号酵母の酒(この会のために取り置きしてあった酒)の呑み比べなどもした。

6月26日(水) 浜松ぜんすけの日本酒を囲む会に出席。今回のテーマは「初夏の正雪呑み比べ」。由比の正雪の蔵元、望月正隆社長にわざわざ来て頂き、お酒の解説をして頂きながらの、正雪と料理を楽しむ会であった。23BY 正雪純米大吟醸半瓶囲いはその香りの美しさ、すばらしさ、味わいの繊細さに感動。究極の一本だった。

6月29日(土) 今日は土曜日。営業日であつた。またもや営業日なのに仕事をさぼる。良い経営者には、なれそうもない。今日は愛知県の名酒の山忠本家酒造のご子息様山田昌弘氏の結婚披露宴。お誘いの手紙が来たので今日は喜んで出席。名誉な事。会場には有名な蔵元さんや有名な一流酒屋さんばかりで、やや緊張気味のしのだ。卓益の酒は昌弘氏誕生年の酒だ。30%の和食用ブレド、洋食用ブレド酒、旨いおめでと。